東医大誌 61(5): 482-484, 2003

### 研究会報告

### 第 36 回 東京医科大学循環器研究会

**時**: 平成 14 年 6 月 15 日 (土)

午後2時00分~

場 所:東京医科大学病院

教育棟 3 階 講堂

当番世話人:東京医科大学

内科学第二講座 山科 章

#### 1. 血性心嚢水の二症例

(東京厚生年金・循環器科)

黑羽根彩子、倉沢 忠弘、橋村 雄城 関口 浩司、神戸 博紀、木全 心一

当院において我々は血性心嚢水2例を経験した。

症例 1:78 歳女性。H12 UCG にて心嚢水認めるも、少量の 為経過観察となっていた。

H13、10 月頃より DOE 出現。H14 から顔面・下肢浮腫認められ精査治療目的にて入院となる。

症例 2:71 歳の女性。以前から XP にて心拡大指摘あり。 H14、3 月上旬頃から階段昇降時の息切れ増悪にて近医受診。 XP にて著明な心拡大、CT にて著明な心嚢水貯留の所見認め られた為、精査治療目的にて紹介入院となる。

心嚢水穿刺の結果、2 例とも 700~900 ml の血性液が得られた。経過より悪性疾患が原因とは考えにくく、恐らく特発性に位置するであろう症例を経験したので、最近の血性心嚢水の原因リポートもあわせて報告とした。

## 洞機能不全症候群 (SSS) に合併した発作性心房細動に対し、Bachmann bundle pacing による DDD pacemaker 植え込みが有効であった一例

(八王子・循環器内科) 山田 昌央、五関 善成、高橋 英治 小松 尚子、稲垣 夏子、木内信太郎 寺本 智彦、大橋 裕樹、喜納 峰子 並木 紀世、小林 裕、笠井龍太郎 内山 隆史、永井 義一

86 歳男性。発作性心房細動 (PAF) にて内服 (Inderal 50

mg) 加療されていた。胸部不快感を主訴に外来受診。PAF頻回に認めるため、Digosin、Amisalin の点滴施行したが、その後、めまいを伴う洞停止を認め、SSS の診断にて緊急入院。モニター上発作性頻脈性 AF やめまいを伴う約4秒の洞停止を頻回に認めた。内服薬のみでは脈拍コントロール困難と判断し、恒久的ペースメーカー植え込み術施行。PAF予防目的で、心房リードをpacing中の最短P波幅を指標として高位心房中隔(Bachmann bundle)へ screw in で固定した。術後 Inderal内服再開し、順調に経過。術後に施行した Holter にて AF 出現率の改善を認め退院となった。PAF症例に対し Bachmann bundle pacing は、AF予防に有効な治療法の一つであり、ペースメーカー植え込み時には症例に応じて、考慮していく必要があると思われた。

# 3. ガイディングカテーテルにより左冠動脈主幹部及び大動脈に解離を生じたため、PCPS下にPCIを施行し救命し得た一症例

(戸田中央総合·循環器内科)

永尾 正、芦矢 浩章、小路 裕 茂田 博、樫木 辰次、佐藤 信也 新戸 禎哲、畠中 正孝、松田 高明

症例は74歳男性。H14.3/3 胸部不快感出現。3/4症状断続的に出現するため近医受診。ECG 上 AMI 疑われ当院紹介。同日緊急 CAG 施行。RCA #1:50%、#6:subtotal、4PD→ LAD collateral 認め#6に対しPCI 施行。石灰化著明でありPOBAにて拡張できないも症状軽快あり終了。3/12 再度PCI 施行、7FrVL4 ガイディングエンゲージ時、左冠動脈主幹部及び大動脈解離生じshockとなり気管内挿管施行しPCPS 挿入、ECG上II IIIaVFST上昇。#1入口部90%に対しSTENT挿入。LMTにもSTENT挿入。#6、7:99%はballoon通過せずIABP挿入し終了。4/22確認CAGにてRCA #1:25%、#4PD90%、LMT:75%、LAD#6:99%であったため5/20CABG施行。今回我々は、ガイディングカテーテルにおいてLMT及び大動脈解離を生じたためPCPSを挿入しPCI、CABGを施行し救命し得た一症例を経験したため報告する。

#### 4. 心筋炎に対する Emergency PCPS の使用経験

(霞ケ浦・循環器内科) 塩原 英仁、長 慎一、森崎 倫彦 三津山勇人、藤縄 学、荻野 崇 後藤 知美、飯野 均、栗原 正人 阿部 正宏

【背景】 経皮的心肺補助装置 (PCPS) の使用により心臓救急疾患の救命率は向上している。

【目的】 PCPS の有用性を心筋炎と他の心臓救急疾患で比